



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 丸大食品株式会社
 コード番号 2288 URL <http://www.marudai.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 百済 徳男
 (氏名) 加藤 伸佳

TEL 072-661-2518

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	110,729	5.3	1,895	66.2	2,117	59.8	916	56.1
26年3月期第2四半期	105,128	2.0	1,140	△38.4	1,324	△29.0	586	△36.1

(注)包括利益 27年3月期第2四半期 1,422百万円 (△8.3%) 26年3月期第2四半期 1,551百万円 (119.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	7.06	—
26年3月期第2四半期	4.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	122,903	69,066	54.8	518.19
26年3月期	120,693	68,576	55.5	515.78

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 67,303百万円 26年3月期 66,991百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	7.00	7.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	223,000	4.4	3,800	32.8	4,100	33.2	1,850	7.2	14.24

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	132,527,909 株	26年3月期	132,527,909 株
27年3月期2Q	2,646,413 株	26年3月期	2,643,785 株
27年3月期2Q	129,882,339 株	26年3月期2Q	129,903,396 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の景気対策等の効果もあり緩やかな景気回復基調となりましたが、個人消費につきましては消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動や夏場の天候不順による影響などにより、依然として不安定な状況が続いております。

加工食品事業につきましては、原材料及び燃料価格の高騰が続くなか、消費税率引き上げ後の消費動向の不透明感が残るなど依然として厳しい環境が続いております。また、食肉事業につきましては、牛肉は供給減少により現地相場は依然として高値のまま推移しました。国産豚肉は、昨年の猛暑の影響に加え豚流行性下痢（PED）による供給減少など、依然として厳しい環境が続いております。

このような状況のなか、当社グループは、お客様に、より安全でより安心して召し上がっていただける食品を提供する総合食品メーカーとして、真に社会的存在価値が認められる企業を目指し、「基盤事業の強化」「多角化戦略の推進」「ローコスト経営の促進」などの基本方針を軸に企業活動を推進してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は前年同期比5.3%増の1,107億29百万円、営業利益は同66.2%増の18億95百万円、経常利益は同59.8%増の21億17百万円、四半期純利益は同56.1%増の9億16百万円となりました。

セグメント別の業績の概況は、次のとおりであります。

【セグメント別業績】

(単位：百万円)

	売上高			セグメント利益又は損失 (△)		
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
加工食品事業	74,071	78,431	4,360 (5.9%)	1,230	1,390	159 (13.0%)
食肉事業	30,888	32,111	1,222 (4.0%)	△ 187	408	595 (-)
その他	169	186	17 (10.2%)	97	96	△0 (△0.4%)
合計	105,128	110,729	5,600 (5.3%)	1,140	1,895	755 (66.2%)

【加工食品事業 売上高内訳】

(単位：百万円)

	売上高		
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
ハム・ソーセージ	43,501	45,400	1,899 (4.4%)
調理加工食品	30,569	33,030	2,461 (8.1%)

① 加工食品事業

ハム・ソーセージ部門は、「燻製屋熟成あらびきウインナー」などの主力商品を中心に、「わんぱく夏活プレゼントキャンペーン」の販売促進を実施するなど積極的な売上拡大に努めました。また、ボリュームたっぷりのフランクフルト「グランツ」シリーズなどの新商品の投入を積極的に努めました。中元ギフトにつきましては、2014年度モンドセレクション食品部門において3年連続最高金賞を受賞しました商品を中心に詰め合わせた「王覇」「煌彩」シリーズなどの売上拡大に取り組みました結果、当部門の売上高は前年同期比4.4%の増収となりました。

調理加工食品部門は、韓国家庭料理チゲの素「スンドゥブ」シリーズにお買得な2袋入りタイプを新たに加えラインナップの充実を図りました。また、だしの旨みをきかせた味わい深い鍋つゆの素「だしうま名人」シリーズや、まるやかで濃厚な味わいの「バターチキンカレー」などの新商品の投入をするなど売上拡大に努めました。デザート・飲料類につきましては「SWEET CAFE」シリーズや、ブラックタピオカ入り飲料の「TAPIOCA TIME」シリーズなどの主力商品の拡販に積極的に努めましたことなどにより、当部門の売上高は前年同期比8.1%の増収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は前年同期比5.9%増の784億31百万円となりました。営業利益は、原材料及び燃料価格の高騰や競合他社との販売競争激化など厳しい環境下にありましたが、価格改定および合理化によるコスト削減に努めましたことなどから、前年同期比13.0%増の13億90百万円となりました。

② 食肉事業

牛肉につきましては、依然として輸入牛肉の供給減少により相場が高値で推移するなか、米国産高価格帯商品の取り組みを強化しました。豚肉につきましては、国産豚肉の供給が減少しているなか、商品手当を強化し、取扱量の増加に努めましたことにより売上高も伸長いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は前年同期比4.0%増の321億11百万円となりました。営業利益は、4億8百万円の黒字となりました。

③ その他事業

その他事業の売上高は前年同期比10.2%増の1億86百万円、営業利益は前年同期比0.4%減の96百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(連結財政状態)

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第2四半期 連結会計期間末	増 減
総 資 産	120,693	122,903	2,209
負 債	52,117	53,837	1,720
純 資 産	68,576	69,066	489
自 己 資 本 比 率	55.5%	54.8%	△ 0.7%

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金が18億68百万円減少しましたが、たな卸資産が25億83百万円増加したほか、受取手形及び売掛金が13億96百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ22億9百万円増加し、1,229億3百万円となりました。

負債は、有利子負債が21億37百万円減少しましたが、支払手形及び買掛金が31億57百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ17億20百万円増加し、538億37百万円となりました。

純資産は、剰余金9億9百万円の配当がありましたが、四半期純利益9億16百万円の計上、その他有価証券評価差額金が2億33百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ4億89百万円増加し、690億66百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末から0.7%低下し、54.8%となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,677	3,457	△ 2,219
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,962	△ 2,207	△ 244
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,786	△ 3,117	△ 331
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,753	13,029	1,276

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権やたな卸資産の増加などによる減少要因がありましたが、仕入債務の増加や税金等調整前四半期純利益の計上などから、34億57百万円増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、生産設備の増強・合理化や品質の安定のための固定資産の取得による支出などから、22億7百万円減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の返済や配当金の支払いなどから、31億17百万円減少しました。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末から18億68百万円減少し、130億29百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間の連結業績につきましては、価格改定及び合理化によるコスト削減に努めましたことなどから、売上高、各利益段階において、予想数値を上回る結果となりました。

これらの状況を勘案し、平成26年5月13日に公表いたしました通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

平成27年3月期の通期連結業績予想の修正（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	220,000	3,500	3,800	1,750	13.47
今回修正予想 (B)	223,000	3,800	4,100	1,850	14.24
増減額 (B - A)	3,000	300	300	100	—
増減率 (%)	1.4	8.6	7.9	5.7	—
(ご参考)前期実績 (平成26年3月期)	213,678	2,861	3,079	1,726	13.29

※上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,897	13,029
受取手形及び売掛金	23,145	24,542
商品及び製品	7,468	9,382
仕掛品	773	784
原材料及び貯蔵品	5,419	6,077
繰延税金資産	1,124	1,146
その他	798	964
貸倒引当金	△61	△62
流動資産合計	53,566	55,866
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	47,448	47,801
減価償却累計額	△32,886	△32,829
建物及び構築物(純額)	14,562	14,971
機械装置及び運搬具	49,416	50,660
減価償却累計額	△38,271	△39,391
機械装置及び運搬具(純額)	11,145	11,268
工具、器具及び備品	4,501	4,447
減価償却累計額	△3,080	△2,945
工具、器具及び備品(純額)	1,420	1,501
土地	18,748	18,245
リース資産	6,449	6,108
減価償却累計額	△3,177	△3,162
リース資産(純額)	3,272	2,946
建設仮勘定	690	228
有形固定資産合計	49,839	49,162
無形固定資産	1,290	1,128
投資その他の資産		
投資有価証券	10,984	11,347
関係会社株式	39	18
長期貸付金	172	162
繰延税金資産	79	76
その他	5,117	5,529
貸倒引当金	△396	△387
投資その他の資産合計	15,997	16,746
固定資産合計	67,127	67,037
資産合計	120,693	122,903

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,547	22,704
短期借入金	7,276	6,451
1年内返済予定の長期借入金	2,990	2,825
リース債務	778	744
未払金	5,505	5,888
未払法人税等	1,045	859
未払消費税等	429	656
賞与引当金	1,043	1,158
その他	1,405	1,528
流動負債合計	40,021	42,817
固定負債		
長期借入金	4,972	4,149
リース債務	2,604	2,311
繰延税金負債	1,034	1,229
退職給付に係る負債	3,017	2,864
その他	466	465
固定負債合計	12,095	11,019
負債合計	52,117	53,837
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,716	6,716
資本剰余金	21,685	21,685
利益剰余金	38,718	38,725
自己株式	△704	△705
株主資本合計	66,416	66,422
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,417	3,651
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△106	△139
退職給付に係る調整累計額	△2,736	△2,630
その他の包括利益累計額合計	575	881
少数株主持分	1,585	1,762
純資産合計	68,576	69,066
負債純資産合計	120,693	122,903

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	105,128	110,729
売上原価	80,745	85,194
売上総利益	24,383	25,534
販売費及び一般管理費	23,242	23,639
営業利益	1,140	1,895
営業外収益		
受取利息	13	11
受取配当金	144	134
不動産賃貸料	94	102
その他	223	223
営業外収益合計	474	471
営業外費用		
支払利息	138	123
その他	152	126
営業外費用合計	291	250
経常利益	1,324	2,117
特別利益		
固定資産処分益	1	19
投資有価証券売却益	10	—
特別利益合計	12	19
特別損失		
固定資産処分損	48	98
減損損失	132	54
投資有価証券評価損	—	3
特別損失合計	181	156
税金等調整前四半期純利益	1,155	1,980
法人税、住民税及び事業税	550	849
法人税等調整額	△71	16
法人税等合計	479	866
少数株主損益調整前四半期純利益	676	1,113
少数株主利益	89	197
四半期純利益	586	916

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	676	1,113
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	865	233
繰延ヘッジ損益	△9	△0
為替換算調整勘定	8	△31
退職給付に係る調整額	—	107
持分法適用会社に対する持分相当額	11	△1
その他の包括利益合計	875	308
四半期包括利益	1,551	1,422
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,462	1,222
少数株主に係る四半期包括利益	89	199

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,155	1,980
減価償却費	2,711	2,585
減損損失	132	54
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6	△8
退職給付引当金の増減額(△は減少)	171	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	△6
受取利息及び受取配当金	△157	△146
支払利息	138	123
投資有価証券売却損益(△は益)	△10	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	3
固定資産処分損益(△は益)	46	78
売上債権の増減額(△は増加)	2,696	△1,395
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,147	△2,586
仕入債務の増減額(△は減少)	2,172	3,264
未払消費税等の増減額(△は減少)	15	226
その他	△41	231
小計	5,891	4,404
利息及び配当金の受取額	154	149
利息の支払額	△138	△122
法人税等の支払額	△229	△973
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,677	3,457
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△15	△14
投資有価証券の売却による収入	27	—
固定資産の取得による支出	△2,302	△2,192
固定資産の売却による収入	200	70
その他	127	△70
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,962	△2,207
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	310	△810
長期借入れによる収入	48	—
長期借入金の返済による支出	△1,633	△987
リース債務の返済による支出	△453	△388
配当金の支払額	△1,037	△908
その他	△19	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,786	△3,117
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	925	△1,868
現金及び現金同等物の期首残高	10,827	14,897
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,753	13,029

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	74,071	30,888	104,959	169	105,128	—	105,128
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	590	590	△590	—
計	74,071	30,888	104,959	759	105,719	△590	105,128
セグメント利益又は 損失(△)	1,230	△187	1,043	97	1,140	—	1,140

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益計とその他事業セグメントの利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各セグメントに帰属しない賃貸等不動産について、回収可能価額の低下に伴う減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては132百万円であります。

当第2四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	78,431	32,111	110,542	186	110,729	—	110,729
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	511	511	△511	—
計	78,431	32,111	110,542	697	111,240	△511	110,729
セグメント利益	1,390	408	1,798	96	1,895	—	1,895

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行業等を含んでおります。
- 2 報告セグメントの利益計とその他事業セグメントの利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に變更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各セグメントに帰属しない賃貸等不動産について、回収可能価額の低下に伴う減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては54百万円であります。